

I. 財政状況

1. 決算収支の状況

- (1) 決算収支
- (2) 歳入決算規模
- (3) 歳出決算規模

(1) 決算収支

(単位：百万円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
歳入決算額 A	28,015	28,180	25,714	26,383	29,159	29,612	31,136	33,604	34,486	31,457
歳出決算額 B	27,405	27,556	24,732	25,559	27,018	28,608	30,081	32,549	33,492	30,506
形式収支 (A-B) C	610	624	982	824	2,141	1,004	1,055	1,055	994	951
翌年度へ繰り越すべき財源 D	62	67	281	204	1,471	313	395	408	382	205
実質収支 (C-D) E	548	557	701	620	670	691	660	647	612	746
単年度収支 (E-前年度実質収支) F	△77	9	144	△81	50	21	△31	△13	△35	134
積立金 G	14	14	191	105	173	313	637	87	112	98
繰上償還額 H	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立金取崩額 I	5	8	12	0	1	33	2	298	199	26
実質単年度収支 (F+G+H-I) J	△68	15	323	24	222	301	604	△224	△122	206

傾向分析

歳入・歳出決算額は増加傾向にあり、18、19年度はやや低い水準となりましたが、20年度以降再び増加しています。毎年、形式収支は6～10億円程度の黒字決算となっていました。20年度は翌年度に繰り越すべき財源として定額給付金などが入ったため大幅な黒字決算となりました。

25年度は平年並みの黒字決算となっています。また、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も概ね平年並みであり、黒字となっています。

25年度の実質収支比率は4.5%となっており、良好な財政運営を表しています。

【参考：実質収支比率の算式】 ※概ね3%～5%が良好とされる。

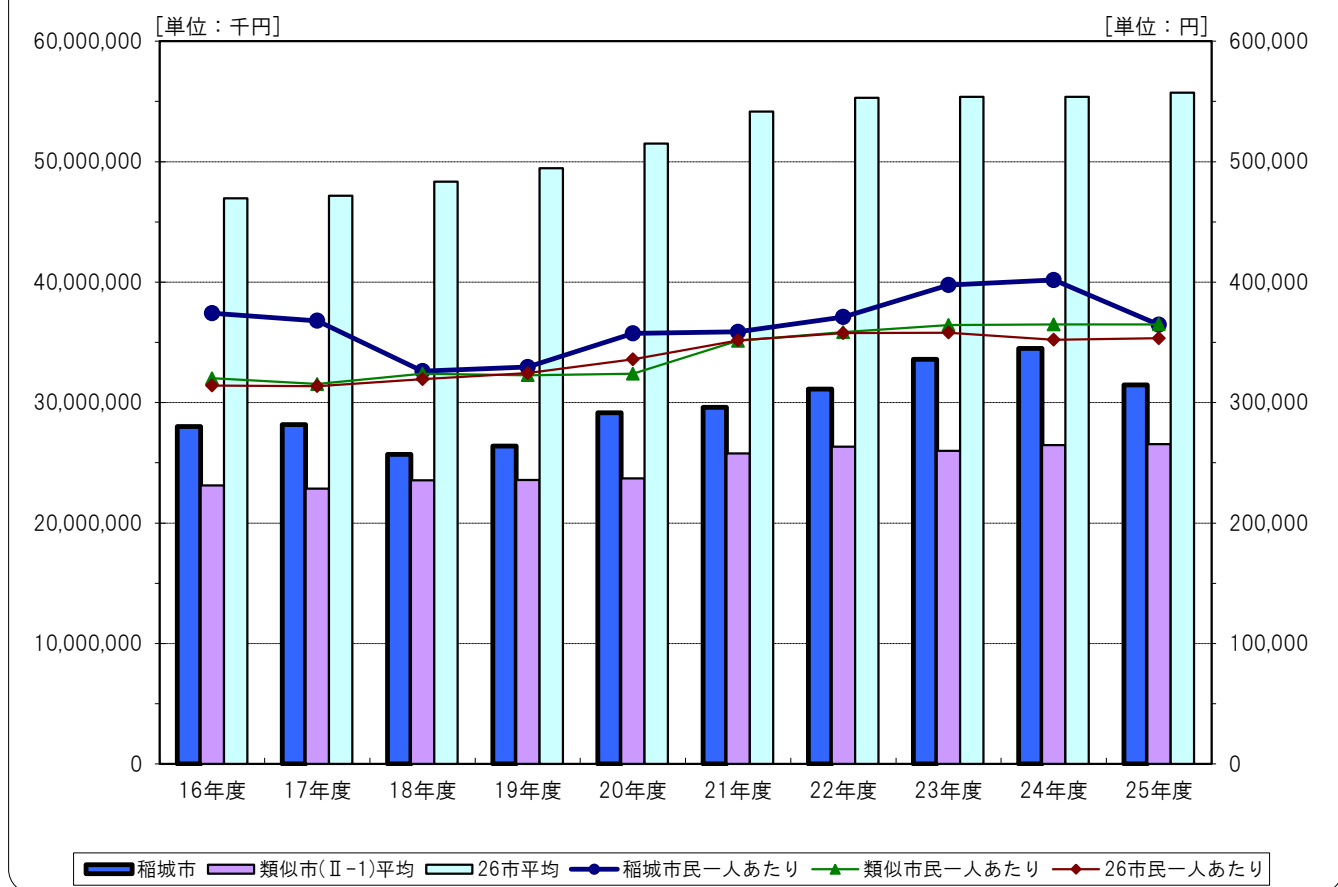
$$\frac{\text{実質収支 (E)}}{\text{標準財政規模} + \text{臨時財政対策債発行可能額}} \times 100 (\%)$$

* 19年度より、臨時財政対策債発行可能額を加えることとなる。

25年度決算26市比較データ 実質収支比率(抜粋)

No.1. 調布市	10.2%
No.2. 福生市[類似市]	9.7%
No.3. 東大和市[類似市]	8.4%
No.7. 狛江市[類似市]	7.1%
No.12. 武蔵村山市[類似市]	5.8%
No.18. 羽村市[類似市]	5.3%
No.19. 清瀬市[類似市]	5.2%
No.20. 稲城市	4.5%
No.23. あきる野市[類似市]	4.1%
No.26. 国立市[類似市]	2.6%

(2) 歳入決算規模



(単位：千円、円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
稲城市	28,014,760	28,180,248	25,714,456	26,382,997	29,159,076	29,611,586	31,135,509	33,603,714	34,485,823	31,457,126
稲城市民一人あたり	374,094	367,860	326,131	329,516	357,495	358,741	371,089	397,668	401,741	364,644
類似市(Ⅱ-1)平均	23,118,774	22,868,437	23,556,058	23,567,991	23,716,346	25,789,474	26,333,012	25,988,411	26,465,216	26,541,610
類似市民一人あたり	320,200	315,401	323,910	322,774	323,857	351,303	358,419	364,300	364,886	365,019
26市平均	46,948,036	47,175,635	48,343,171	49,443,712	51,494,213	54,162,466	55,288,374	55,383,591	55,385,853	55,713,869
26市民一人あたり	314,246	313,620	319,502	324,545	336,025	351,702	357,775	358,071	352,126	353,362

傾向分析

歳入総額及び市民一人あたり額は、近年では26市平均、類似市平均ともにほぼ横ばいの状況にあります。

稲城市では、年度ごとの増減はあるものの増加傾向にあります。

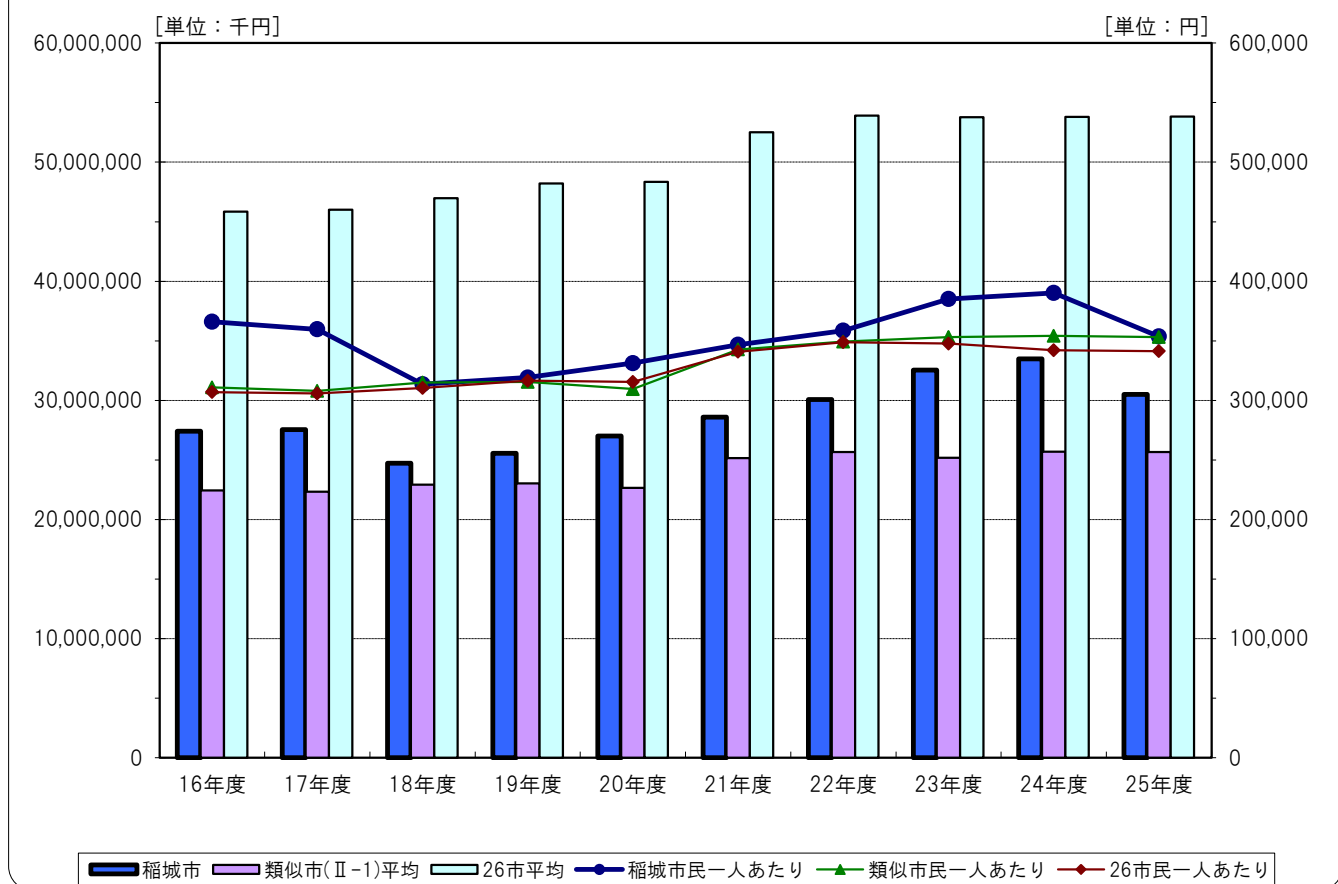
稲城市の歳入総額に年度によるバラつきが見られるのは、土地地区画整理事業などの都市基盤整備や学校教育施設の整備の財源となる国庫支出金、都支出金、市債などが、事業の進捗状況に合わせて大幅に増減しているためです。

25年度は、(仮称)南山小学校用地買収事業債などの市債が大幅減になったほか、公共施設整備基金繰入金などの繰入金が減となったことなどにより、前年度比3,028,697千円(8.8%)の減、市民一人あたり額37,097円(9.2%)の減となっています。

25年度決算26市比較データ 市民一人あたり額(抜粋)

No.1 武蔵野市	440,009円
No.3 福生市[類似市]	394,079円
No.5 武蔵村山市[類似市]	383,164円
No.6 羽村市[類似市]	378,500円
No.7 あきる野市[類似市]	377,631円
No.8 清瀬市[類似市]	376,637円
No.9 稲城市	364,644円
No.14 国立市[類似市]	351,900円
No.17 東大和市[類似市]	344,609円
No.24 狛江市[類似市]	327,366円
No.26 町田市	319,779円

(3) 歳出決算規模



(単位：千円、円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
稲城市	27,404,543	27,556,412	24,731,552	25,558,895	27,017,791	28,608,306	30,080,806	32,548,785	33,492,126	30,506,111
稲城市民一人あたり	365,945	359,716	313,665	319,223	331,242	346,587	358,519	385,184	390,165	353,620
類似市(Ⅱ-1)平均	22,446,701	22,328,874	22,913,815	23,041,790	22,664,266	25,159,650	25,660,890	25,193,362	25,694,961	25,678,190
類似市民一人あたり	310,892	307,959	315,079	315,567	309,490	342,723	349,270	353,155	354,267	353,144
26市平均	45,850,606	45,997,280	46,972,455	48,215,152	48,353,113	52,498,227	53,910,102	53,785,288	53,794,131	53,825,927
26市民一人あたり	306,900	305,786	310,443	316,480	315,528	340,895	348,856	347,738	342,006	341,388

傾向分析

歳出総額及び市民一人あたり額は、近年では26市平均、類似市平均ともにほぼ横ばいの状況にあります。

稲城市では、土地区画整理事業や南武線連続立体交差事業など、多額の資金が必要となる都市基盤整備を推進しているため、事業の進捗状況に合わせ、年度ごとに大きな増減を繰り返しながら、全体としては増加傾向にあります。

25年度は、道路用地買収費、土地区画整理事業、ふれんど平尾改修工事、(仮称)南山小学校用地買収費などの投資的経費が大幅減になったことなどにより、前年度比2,986,015千円(8.9%)の減、市民一人あたり額36,545円(9.4%)の減となっています。

25年度決算26市比較データ 市民一人あたり額(抜粋)

No.1 武蔵野市	422,430円
No.3 福生市[類似市]	375,110円
No.4 武蔵村山市[類似市]	371,523円
No.6 あきる野市[類似市]	369,261円
No.7 羽村市[類似市]	367,463円
No.8 清瀬市[類似市]	366,285円
No.9 稲城市	353,620円
No.11 国立市[類似市]	345,209円
No.19 東大和市[類似市]	328,829円
No.24 狛江市[類似市]	314,220円
No.26 町田市	309,442円